※令和４年度以降入学生用

学校番号	3008

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	最新　数学Ⅱ　（数研出版）						
副教材等	ポイントノート　数学Ⅱ　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇教科書用のノートを用意してください。
・例題を用いて説明をし、板書する。そして問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。
〇授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
〇副教材の問題集を常に持ってきておいてください。
・教科書の練習問題が早く解けた場合や授業での演習の時間に利用します。
・問題をまず自分で解いてみましょう。答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自で解答書を見ながら答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
〇家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まで諦めずに取り組みましょう。

２　学習の到達目標

・数学Ⅰの三角比の基礎的な知識の復習から三角関数までの知識や技能を習得します。
・式と証明、指数関数と対数関数の基礎的な知識や技能を習得します。
・事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにします。さらに、それらを活用する態度を身に付けることを目標とします。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	いろいろな式や方程式、指数関数・対数関数、三角関数における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身につけている。また、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	事象を数学的に考察し表現し思考の過程を多面的・発展的に考えることを通して、式や方程式、指数関数・対数関数、三角関数における数学的な考え方を身に付けている。	いろいろな式と方程式、指数関数・対数関数、三角関数における考え方や体系に関心を持ち、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	三角関数	・角の概念を一般角まで拡張して、三角関数および三角関数の加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 (一般角)(弧度法) (三角関数) (三角関数のグラフ)	a: 単位円上の点の座標を、三角関数を用いて表すことができる。 b: 弧度法の定義を理解し、度数法と弧度法の換算をすることができる。 c: 一般角を動径とともに考察することができる。	・確認テスト ・課題	・定期テスト ・課題 観察等	・学習活動への取り組み姿勢と態度 ・課題・提出物の状況 ・ノート作成
2学期	式と証明	・整式の乗法・除法および分数式の四則計算について理解できるようにするとともに、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。 (整式の乗法と因数分解) (二項定理) (整式の割り算) (分数式の加法・減法)	a: 分数式を分数と同じように約分して扱うことができる。展開の公式を用いて、3乗に関わる式を展開することができる。 b: 整式の割り算の結果を等式で表して考えることができる。 c: 1 年次の展開と因数分解の復習と分数式の計算を通して、式の計算に興味・関心をもつ。	・確認テスト ・課題	・定期テスト ・課題 観察等	・学習活動への取り組み姿勢と態度 ・課題・提出物の状況 ・ノート作成
3学期	指数関数と対数関数	指数関数および対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 (指数法則) (指数関数とそのグラフ) (対数)(対数の性質) (対数関数とそのグラフ)	a: 指数法則と対数の定義から対数の性質を考察することができる。常用対数を利用して、桁数や小数首位の問題を解くことができる。 b: 指数関数のグラフの概形、特徴を理解している。 c: 指数の範囲を正の整数から0や負の整数に拡張する過程に関心をもち、どのように定義すればよいかを調べようとする。	・確認テスト ・課題	・定期テスト ・課題 観察等	・学習活動への取り組み姿勢と態度 ・課題・提出物の状況 ・ノート作成

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度